

本事業で実施予定の調査内容等について（案）

1. 海外の事例調査及び分析

「知」の集積と活用の際の仕組みを検討するため、海外の取組事例の調査分析を実施。対象国は以下の5カ国を想定し、それぞれの国において、参画企業、国、地方政府、地方自治体等を対象として、関係組織の組織・運営体制、資金調達方法、コーディネート等を行う人材の具体例を含めた活動の状況、研究成果となる知的財産の取扱い等について現地調査を実施予定。

- ① 《オランダ王国》 フードバレー財団、ワーヘニンゲンUR及び中核連携機関
- ② 《ベルギー王国》 フランダースバイオ及びフランダースバイオテクノロジー研究機関
- ③ 《デンマーク》 フードクラスターinオーフス
- ④ 《フランス》 Vitagora
- ⑤ 《シンガポール共和国》 バイオポリス

2. 国内の事例調査及び分析

同様に「知」の集積と活用の際の仕組みを検討し、来年度から実質的な取組を展開していくため、以下のとおり、国内の産業クラスター等の調査・分析、コーディネート人材の確保、技術ニーズ・開発ニーズの把握に向けた調査及び分析を実施予定。

(1) クラスター政策に関する事例調査

他省庁のクラスター創生事業に関して、農林水産・食品分野における事例調査を実施（4ヶ所程度）。

(2) 6次産業化事業に関する事例調査

食品産業クラスターや、これに類する取り組みを行っている地域について、農林水産・食品分野における事例を抽出し、調査・分析を実施（2ヶ所程度）。

(3) 技術開発動向調査及び市場動向調査

農林水産・食品産業へ転用できる優れた技術の開発動向及び市場予測に基づく技術普及見込みについて、農林水産省所管の独立行政法人（10ヶ所以上）、大学・高専・他省庁所管研究独法・公設試（10ヶ所以上）、民間企業（アンケート調査：500社程度、聞き取り調査：70社程度）等へ聞き取り調査を実施。

(4) コーディネート人材の確保調査及び意向調査

研究開発の段階から産学が密接に連携し、早期に成果を実現できるよう支援するコーディネーターを確保するため、コーディネーターに適した人材を20人を下限としてリスト化するとともに、「知」の集積と活用の場に協力する意思があるかの意向調査や、協力する場合の条件等の調査を実施。

(5) ニーズ把握調査及び分析

農業の現場や技術普及の現場において抱える様々な問題点、課題を把握し、農林水産・食品産業分野や異分野業種の革新的な研究シーズ、休眠状態の研究シーズを商品化・事業化に結びつけるために必要な課題を抽出し、プラットフォームで活用可能な検討リストを作成(アンケート調査:50 機関程度、聞き取り:10 機関以上)。

3. 普及・啓発活動の実施

広く異分野も含めた関係者に本取組を周知し、28年度から速やかに「知」の集積と活用の場の活動を展開していくため、以下の普及・啓発活動及び試行・実証を実施予定。

(1) 広報資料の作成

攻めの農林水産業を支える知の集積調査推進事業の中間取りまとめの内容を周知する広報資料(パンフレット)を作成。

(2) シンポジウムの開催

「知」の集積と活用の場に係る基本構想の中間取りまとめ後に、本取組に関する広報・周知のため、講演等を含めたシンポジウムを開催。

(3) 技術交流展示会への出展

「知」の集積と活用の場の検討を広く周知するため、新たな技術を紹介し交流を生み出すための技術交流展示会(アグリビジネス創出フェアを想定)に出展。

(4) 試行・実証(官民協議会、セミナー・ワークショップ・勉強会の開催)

「知」の集積と活用の場の構築に向けて関心を持つ民間企業、大学、研究機関、農業者等が参画する官民協議会を設置し、官民協議会によるネットワークを構築するとともに、プラットフォームの設立と研究活動を促進するセミナー・ワークショップ・勉強会等を開催。

調査等の実施スケジュール（案）

平成 27 年 5 月 27 日現在

	平成 27 年										平成 28 年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
（１）「知の集積」に係る調査・分析業務													
ア 国外調査・分析 (i) 海外現地調査等 派遣 (各 2 名予定) ※	●————●												
・派遣Ⅰ（11 日間） a オランダ b ベルギー			●——●										
・派遣Ⅱ（9～10 日間） d デンマーク e フランス						●——●							
・派遣Ⅲ（5 日間） c シンガポール				●——●									
イ 国内調査・分析 (i) 国内ヒアリング 調査		●——●											
ウ 技術開発動向調 査及び市場動向 調査 (i) 国内ヒアリング 調査		●——●											
(ii) アンケート調査		●——●											
エ コーディネー ト人材確保調査 及び意向調査 (i) リストアップ		●——●											
オ ニーズ把握調 査及び分析調査 (i) アンケート調査		●——●											
(ii) 国内ヒアリング 調査					●——●								
カ 他省庁の関連施 策の調査及び分 析業務 (i) 一次調査(6～7 月) 追加調査(8～12 月)			●——●		●——●								
キ その他 (i) 必要な検討								●——●					

※欧州への海外現地調査は、
夏期休暇等を考慮し、協議
の上決定予定。

「知」の集積と活用「場」
基本構想案の中間とりまとめ

「知」の集積と活用「場」
基本構想案の最終とりまとめ

	平成 27 年									平成 28 年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(2) 「知の集積」に向けた基本構想案のとりまとめ業務												
ア 検討委員会の設置・運営、検討委員会による分析 (i) 検討委員会開催	●	①	②③	④⑤	⑥							
										<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 試行・実証の取組状況、国内外の調査結果等を踏まえつつ、年度末までに6回程度の検討会を開催予定 </div>		
イ 「知の集積」基本構想案の取りまとめ (ii) 中間とりまとめ (iii) 最終とりまとめ			●		●						●	●
(3) 普及啓発活動の実施												
ア 広報資料の作成 (i) 広報資料の作成					●	●						
イ シンポジウムの開催 (i) 関東地域 (ii) 関西地域			●			●						
ウ (i) 技術交流展示会への出展					●				●			
										<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> アグリビジネス創出フェア(11/18-20) </div>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">「知」の集積と活用の中とりまとめ</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">「知」の集積と活用の中とりまとめ</div> </div>												
ア 官民協議会、セミナー・ワークショップ・勉強会の開催 (i) 官民協議会設立		●										●
(ii) セミナー・ワークショップ・勉強会開催			●					●				●
										<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> セミナー・ワークショップ 勉強会開催 </div>		
(5) 成果品の作成												
ア 成果報告書の作成											●	●